

新シリーズ 委員会メンバー便り 第 1 2 回 私とコンピュータの出会い

事業運営委員会（情報専門部会）
委員 竹之下 英樹

「メルマガ全部協プライムニュース」におきましても、シリーズで全部協の委員会メンバーの皆様から、いろんな話題を提供して参ります。ジャンルを問わず委員メンバーの関わった事柄を自由題材に記事として提供して頂き掲載して参ります。



竹之下委員
(有)竹之下部品商会 宮崎県

私とコンピュータの出会いは、高校生のとときに情報処理の授業で BASIC でのプログラムを作成したのが始まりです。その後の進路を、コンピュータ専門学校と決め、COBOL、FORTRAN、Cなどを覚え、電機メーカーに就職しました。仕事の内容は大型プラントシステムのハード制御（監視盤・制御盤・計装盤・リレー盤など）の動作試験、旧ハード制御盤などをソフトシーケンスでのリプレースが主で、遠隔プラント制御、光通信、メッセージ通信、インバーター制御、流量制御・温度補正、電力デマンド等の計測システム試験員の経験をさせていただき、制御系マシン語、絶対番地でのデータ管理と書き換え、新システムの設計・開発・検証などを計約 8 年間、勉強させていただきました。その時の先輩から試験員は些細なことでも事故・トラブルにならないように「発見」することが大切と教えていただきました。「発見（はっけん）」とは、「八見（はっけん）」：八つの方向・角度・考え方が大事であると言われたことを今でも大切な言葉として生きております。

退社後は実家の宮崎で家業を手伝うようになって、パーツマンに出会いました。使用していたパソコンは 5 インチフロッピーディスク、ハードディスクの容量は 20 メガ、CPU も 286 や 386 で OS は MS-DOS を使用、それとコマンド入力に向いてない日本語キーボード（あいうえお順）がありました。JIS キーボードになれていた私は伝票入力スピードが誰よりも遅かった記憶があります。

パーツマンは車種別の紙カタログやマイクロフィルム、カウンター業務の頭の中の品番が翼コード（現ブロードリーフコード）で検索、伝票発行や請求書発行ができ、初心者が部品を知らなくても品番までたどり着けるツールで、情報の共有の必要性というものを教えてくれた検索機になったのが印象的です。しかし、当社では在庫管理と言うものをまったくしておらず、検索後、倉庫に走り在庫確認・出庫作業が日常業務で、棚卸も徹夜でしておりました。棚卸表に手書きで品番と個数を記入し、あとから原価を調べるというスタイルです。もちろん、原価などパーツマンに登録されているわけでもなく、仕入伝票から掛率を算出し、定価をベースに電卓をたたき、記入していました。こんな無駄な時間・体力のあり方を見直し、在庫管理を始めることに。在庫管理と言っても在庫マスタで棚番を入れるだけの簡単な管理の方法です。これだけで通常の業務で倉庫に走ることがなくなり、部品を知らない新人の私でも在庫を即答できるようになりました。

次に在庫数の管理が課題でした。棚番があるから在庫があるという認識は「棚落ち祭り」の始まりで、検索・即伝・出庫と仕入入力に連動させることが最低条件でした。こんな業務の無駄時間ばか

りしていると、もっとシンプルで楽な方法があるのでは？と無い知恵を絞り、バーコード管理で在庫と仕入入力にたどりつきました。市販のバーコード管理システムを使い、ファイルをパーツマンの在庫マスタに書き換えができれば可能では？という考えで、すぐにデータフローを作成したのですが、問題発生です。パーツマンの在庫マスタのファイルは暗号化されていて解読できず断念しました。平成 11～12年のことでした。今年の全部協総代会のシステム展示会会場でパーツマンにバーコード管理できるシステムが発表されましたね・・・。

在庫管理・在庫入替に時間を要するように部品検索にも時間を要する車両があります。このような車両の管理は先代社長がノートに出庫した品番を手書きで記入していたのですが、当時のパーツマンは売上傳票の保存期間が短かったため、私は EXCEL にデータとして管理を始めましたが、検索時間の短縮や出庫ミスをなくするために定期的にファイル更新が必要でした。そんなときに PM7 で車両管理機能がオプションであると聞き、早速導入。売上部品の履歴を閲覧することにより、検索スピードが数十分から数分まで短縮することができました。

私自身も実務をしながら、PM.NS を利用していますが、便利な機能を利用し、今まで知らなかった機能を勉強しながら業務の効率UPをしています。リビルト品の原価を入れると、設定された利益率を確保した販売価格表示や、商品在庫マスタ（一括登録・修正）で棚番管理や新規登録、結合マスタを自社オリジナルで使うなどを利用しながら勉強しております。PM.NS を導入したときは不具合箇所が多数あり、一年以上不満をかかえながら使用してきたこともあります。自由帳票やワンタッチで在庫入替できるようには言いませんが、大きな部品商と比べたときに対応・処理スピードに差を感じたのが残念です。

最後に、全部協から提供されている「共通互換検索」「共同購買サイト」にも関わらせていただいております。「共同購買サイト」は 7 月 1 日より買い物かごが利用できるようになり、便利になりました。

また「共通互換検索」も評価機能（○・×）を装備して利用していただいておりますが、信頼度を上げていくために評価の書込みができるようになりました。（詳細は互換の使用ヘルプ参照）

まだまだ進化の途中ではございますが、共に 24 時間フルで稼働しています。「共通互換検索」は定額使い放題、「共同購買サイト」は無料（ID/パスワード要）となっておりますので、多くのご利用をお願い申し上げます。